放課後等デイサービスきらり☆ぷらす自己評価結果　　R6.3

		項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容によって部屋を区切って活動しています。距離が近くなる場合があるが、その都度声掛けをしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要な配置数は確保しています。必要に応じて加配も配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			室内は段差もありませんが、安全に留意ながら活動しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのＰＤＣＡサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			日々の業務についてスタッフ間で意見を出し合って改善につなげる時間を設けます。また業務や支援に対しての研修等の機会を設けて意識の改善に繋げていきます。
	⑤	保護者向け評価表を活用することによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートを実施し、結果を元に意向を把握・朝礼や研修等で職員全員が把握し支援の改善に繋げています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページによる公表を行っています。 今年度より保護者様への紙面での配布を行います。今年度評価結果をHPにてR6.3公表予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部研修の情報を提示し、研修の機会を確保しています。 月1回の内部研修を実施しています。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			相談支援専門員・学校等と連携を図り、子どもと保護者のニーズや事業所・家庭での課題を把握した上で計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。			○	事業所独自の様式を使用しています。

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			スタッフ間で意見を出し合い、内容を共有しながら立案しています。行った活動について振り返りをおこない、精査・改善に取り組んでいきます。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		季節に応じた活動や継続的に取り組むことができる活動を取り入れています。 長期休暇利用時は、日によってプログラムを決め活動しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め細やかに設定して支援しているか	○			平常時の内容とは別に休日の活動プログラム・長期休暇活動プログラムを組んで支援しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個々の課題を把握し、それぞれの課題に応じた計画作成を行っています。計画内容や支援方針をスタッフ間で共有し、方向性を統一して支援をおこなっていきます。
	⑮	支援開始前には職員間んで必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングや昼の活動前にその日の活動内容や配置、について確認し、全職員が把握できるようにしています。
	⑯	支援終了後人は、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振りかえりを行い、気づいた点等を共有しているか		○		次の日の朝のミーティングと昼の活動前に子ども達の日々の変化、気になる様子を共有し支援に繋げています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の様子は連絡帳に記載しており、申し送り時の報告はノートに記載するようにしています。 ★記録で保護者へのお伝えが難しい場合には、口頭やお電話等で様子をお伝えするようにしています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			通常年2回面談にてモニタリングを行っています。保護者の方の意向をお聞きし、事業所内での評価を行って計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか。	○			児童の特性を把握したうえで、様々な活動を組み合わせて支援を行っています。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○			支援会議には管理者・児童発達支援管理責任者等が参加しています。その後、会議内容を全職員に報告し共有するようにしています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			お迎えカレンダーにて下校時刻の確認を行って毎月の送迎表を作成しています。学校お迎え時は先生と対面での児童受け渡しを徹底しています。
	㉒	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。			○	医療ケアが常に必要な児童は現在通われていませんがかかりつけ医や主治医等を把握し、緊急時に迅速に対応できるようにしています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有相互理解に努めているか。	○			他事業所での様子をお伺いして情報共有に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をする等しているか。			○	対象となる年齢の利用児童がいない為、行ったことはないですが、今後必要となった場合は連携を行い、スムーズな移行に努めます。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉕	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。			○	相談支援専門員との連携は行っています。 研修等ある場合は参加しております。
	㉖	放課後児童クラブや児童館と交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。			○	新型コロナウィルスの感染状況により、外部との接触は避けてきたが状況を見ながら、機会を設けることができるよう検討していきます。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			府中市自立支援協議会、福山市放デイ協議会へ定期的に参加しております。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			送迎時や連絡ノートなどで子どもの状況をお伝えし、ご自宅での様子なども伺っています。また、電話等で都度お伝えさせていただくこともあります。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。		○		モニタリング等で、家庭内で行える支援等の助言を行っている。

保護者への説明責任等	㉚	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			運営規定、利用者負担につきましては契約時に説明をさせていただいております。契約時やモニタリング時以外にも、お気になる点は常時質問を受け付けております。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			相談については、随時受け付けています。 ★その都度電話・お手紙等で対応しています。
	㉜	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			開催はしていないが、参観日など保護者同士が関わる機会を設けています。
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			苦情やクレームに対しては迅速に対応するよう職員間で周知しています。
	㉞	定期的に会報等発行し、活動概要や行事よてい、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	○			毎月通信を発行しお渡ししています。 LINEやSNSを活用し情報発信しています。
保護者への説明責任等	㉟	個人情報に十分注意しているか。	○			情報ファイルは鍵付きの保管庫で管理しています。写真やSNSの使用については、事前に保護者の方に意向を確認し許可を得るようにしています。★個人情報の漏洩等につながらないよう、職員一人一人が事前にリスクに気付けるよう、個人情報に対する意識を高めていきます。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			簡潔な説明や情報の提示の仕方、連絡手段などを個々に検討し配慮しています。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招致する等地域に開かれた事業運営を図っているか。			○	感染症の流行以降、地域住民と関わる行事等は行っておりません。
	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しているか。	○			マニュアルを作成し、常時保護者が確認できるようにしています。

非常時の対応	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			年２回の避難訓練を行っています。火災や地震などの災害の種類に合わせて、対応の仕方など児童と一緒に確認しています。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			研修会への参加及び事業所内での研修を行っています。日々の中で、虐待に類似する対応がないか毎朝確認をおこなって共有しています。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			事業所として、身体拘束適正化のための委員会を発足し、情報の共有と適正化に努めていっています。必要に応じて計画に記載するとともに、契約時など丁寧な説明を心がけていきます。
	㊷	食物アレルギーのある子供につて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			○	アレルギーについては保護者を通じて書面にてアレルギーの確認（毎年）を行っています。 その日の利用児童ごとにアレルギーの有無や食材について事業所内に掲示しています
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。	○			ヒヤリハット事例については、報告書を作成し、都度職員間で共有し改善策を話し合ったうえで対応しています。

放課後等デイサービス　きらり☆ぷらす　保護者評価　　R6.3

		項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	ご意見
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	27	6	0	0	・楽しく活動できていると思う
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	24	8	0	1	・いつも丁寧にわかりやすく接してくれている。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	26	6	1	1	・事業所内、活動の場所へ入ったことがない。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	32	1	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	30	2	0	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館の交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	24	4	2	3	・知らないのでわからない ・学校で交流を深める学習がある
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	0	0	0	
	⑧	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	2	1	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援ができているか	30	1	1	1	

	⑩	保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	8	2	1	・参加しないので分からない
保護者への説明等	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった売位に迅速かつ適切に対応しているか	28	4	0	1	・スピーディーに動いてくださりありがたいと感じている
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	3	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子供や保護者に対して発信しているか	32	1	0	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	33	3	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	20	10	1	2	・よく知らない
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出・その他必要な訓練が行われているか	21	10	0	2	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	23	4	0	6	・毎回楽しみにしている
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	0	0	6	・大満足です